



2017年4月27日

報道関係者各位

慶應義塾大学

第26回 慶應義塾大学工学部市民講座
「エンジニアリングでスポーツを捉える」6月10日（土）開催

慶應義塾大学工学部では、大学における研究の成果を知っていただくため、市民のみなさまを対象とした公開講座を開催しており、今年度で第26回を迎えます。

今回の講座は、2017年6月10日（土）に本学日吉キャンパスにて開催いたします。最近話題の「スポーツ工学」に着目し、2020年の東京オリンピックに向けてホットなトピックで講演を行います。

第一講では、ヒトはなぜ通常は「歩き」、早く移動したいときに「走る」のかという謎に迫り、「歩行」と「走行」の違いに焦点を当て、ヒトの移動原理を解説いたします。

第二講では、スポーツが上手い、とはどういうことなのかという謎に迫り、スポーツ動作についてセンシング技術を駆使して計測し、野球やゴルフ、水泳などの運動が上手いとはどういうことなのかを例に科学的に解説いたします。

第三講では、近年大活躍の日本競泳陣がベースにしているスッポンの最速時の手足の動きを真似たスッポン泳法の成り立ちと内容、4泳法への適用について解説いたします。

なお、本講座は受講料無料で、どなたでも聴講可能です。

イベント欄への掲載ならびにご取材のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 開催概要

日 時：2017年6月10日（土）13：00～16：30（12：30開場）

会 場：慶應義塾大学 日吉キャンパス（横浜市港北区日吉4-1-1）

協生館2階 藤原洋記念ホール

*東急東横線／目黒線、横浜市営地下鉄グリーンライン【日吉駅】下車すぐ。

*キャンパス内に駐車はできません。公共交通機関をご利用ください。

*交通アクセス <http://www.kcc.keio.ac.jp/access/index.html>

対象者：どなたでも可

受講料：無料

定 員：300名

2. プログラム

第一講（13:10～14:00）「なぜヒトは「走る」のか？」

慶應義塾大学 工学部 機械工学科 教授 荻原 直道

第二講（14:20～15:10）「巧みの技をセンサで測る？ーゴルフ、野球、水泳、etc.ー」

慶應義塾大学 環境情報学部 教授 仰木 裕嗣

第三講（15:30～16:20）「最速泳法スッポン泳法」

工学院大学 工学部 教授 伊藤 慎一郎

*各講の終了後に10分程度の質疑応答時間を設けます。

3. お申し込み・お問い合わせ

締切：5月23日（火）必着（定員に達し次第、締め切ります。）

お申し込み方法：下記 web サイトからお申し込みください。

<http://www.recsat.keio.ac.jp/hoka/shimin.html>

*その他、Eメール/FAX/ハガキでのお申し込みも受け付けます。

必要事項（氏名、郵便番号、住所、電話番号またはEメールアドレス）を明記の上、下記へお送りください。

・Eメール shimin-koza@adst.keio.ac.jp

・FAX 045-566-1436

・ハガキ 〒223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1

慶應義塾大学 理工学部学術研究支援課 市民講座係

お問い合わせ先：慶應義塾大学 理工学部学術研究支援課 市民講座係

TEL 045-566-1794（平日 9：00～16：30）

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部、文化部、横浜支局、イベント欄担当等に送信させていただいております。

本発表資料の配信元

慶應義塾広報室（竹内）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>